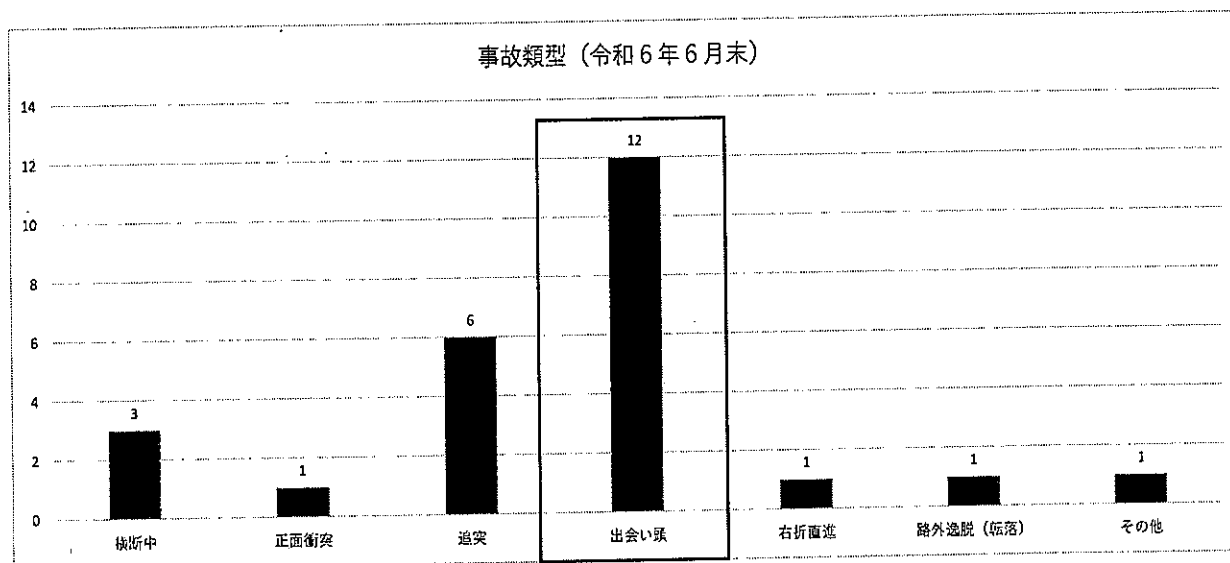


大船渡署管内の交通事故発生状況

令和6年7月22日
大船渡警察署

【交通事故状況】

	R元	R2	R3	R4	R5	R6.6末
死者数	1	1	6	3	2	2(±0)
人身事故	62	53	56	48	50	25(+4)
傷者数	73	60	65	53	55	35(+14)
物損事故	1051	869	890	885	854	401(-12)



2 事故の特徴

- 発生件数は概ね減少傾向であるが、令和5年は微増。
- 2年連続（R5、R6）海中転落による死亡事故が発生。
- 出会い頭事故が多い。

3 飲酒運転検挙状況

	R元	R2	R3	R4	R5	R6.6末
大船渡市	11	10	9	6	12	2(-8)
陸前高田市	1	4	4	1	2	1(±0)
住田町	0	0	0	0	2	1(-1)

4 運転免許証自主返納

	R元	R2	R3	R4	R5	R6.6末
大船渡市	189	182	145	145	129	65
陸前高田市	106	96	106	93	80	50
住田町	13	23	16	12	13	9

飲酒運転は 「捕まらない」 なんて思ってる？



岩手県内では未だ多くの方が
飲酒運転で検挙されています

令和6年6月末飲酒運転検挙 150 件(前年同期比-37 件)

うち約 3 割が交通事故を起こしています

飲酒運転には厳しい処罰が！

酒酔い運転	違反点	35点
	罰則	5年以下の懲役または 100万円以下の罰金

酒気帯び運転	違反点	呼気1ℓ中のアルコール濃度 0.25mg以上の場合	25点
	罰則	呼気1ℓ中のアルコール濃度 0.15mg以上0.25mg未満の場合	13点
	罰則	3年以下の懲役または 50万円以下の罰金	

運転者以外（同乗者、車両提供者、酒類提供者）も厳しく処罰されます。

岩 手 県 警 察

高齢ドライバーの皆様へ

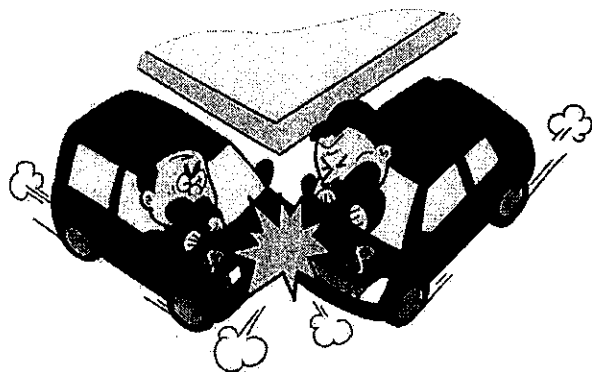
令和6年5月末現在、県内で発生 of 交通死亡事故の半数は、
高齢ドライバーが第一当事者となった事故です。

- 70代の方が運転する車両が、交差点で自転車と衝突
- 80代の方が運転する車両が、自動車専用道路でガードパイプに単独衝突
- 80代の方が運転する車両が、駐車場で後退時に歩行者と衝突 など

高齢ドライバーによる交通事故の
約半数は、

- ぼんやり運転
- わき見運転
- 安全不確認
- 動静不注意

が原因で発生！



高齢ドライバーによる交通事故の
約3割が交差点での出会い頭事故！

安全運転のための第一歩！

- ☑ 加齢に伴い、身体機能が変化し、とっさの反応に遅れがでます。
車間距離を十分にとり、前をよく見て運転しましょう。
- ☑ 交差点など危険が予想される場所では、信号や一時停止標識の
見落としをしないようにし、安全確認を確実に実施しましょう。
- ☑ 運転前の体調チェック。体調が悪いときは運転を控えましょう。

運転に不安を感じたらまずは相談！ 気持ちハレバレ

安全運転
相談ダイヤル

#

シャープ

8

ハ

0

レ

8

バ

0

レ

岩手県警察

安全運転のポイント

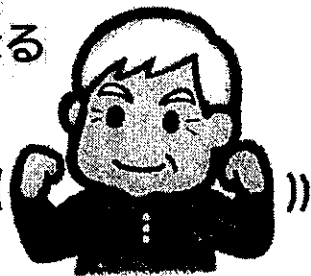
① 年齢に応じた安全運転

高齢ドライバーは、個人差はあるものの、一般的には、

- ① 視力等の低下により、周囲の情報を得にくくなる
- ② 反射神経に低下が生じ、とっさの対応が遅れる
- ③ 体力の低下などにより、運転操作が不正確になる

などの特性がみられます。

自身の体の変化を正しく理解し、それぞれの状態に応じて、車間距離を多めにとる、速度を抑えるなどの安全対策をとることが大切です。



② 経験を生かして安全運転

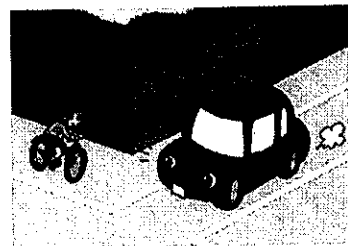
安全運転の実践のためには、危険予測運転が効果的です。

高齢ドライバーは、過去の運転経験から危険な状況等について豊富な知識があります。

これらの経験や知識を生かして、

- 歩行者が飛び出してくるかもしれない
- 相手は自分に気づいていないかもしれない

など、危険を予測し、それに備えて運転することが効果的です。



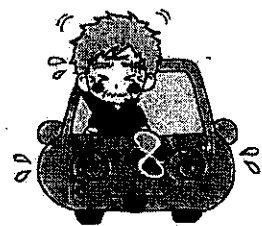
③ 体調管理で事故回避

体調不良時は、注意力が低下し、交通事故の危険性が高まります。

運転前に体調を確認し、体調が悪い時は、運転を控えるようにしましょう。

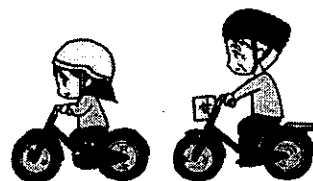
運転中も体調の不良を感じた時は、安全な場所に車を停めて、運転を中断しましょう。

また、車両を運転する際には、こまめに休憩を取り、心身ともにリフレッシュしましょう。

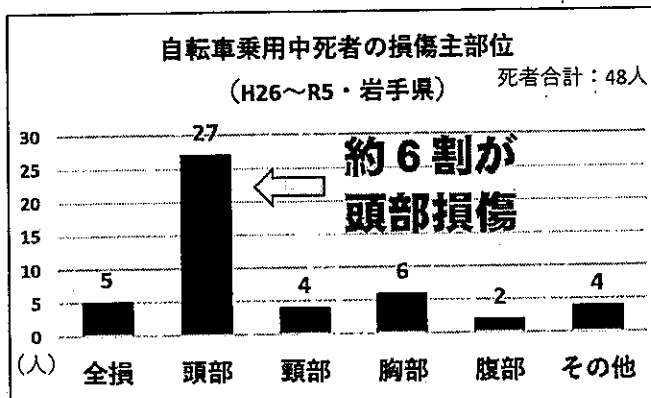


自転車とヘルメットはワンセット

自転車乗るなら ヘルメット着用！！

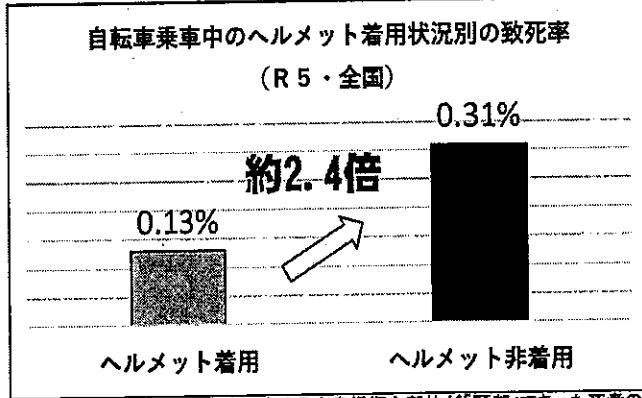


Check 1



自転車乗用中の交通事故で亡くなられた方の約6割が、**頭部**に致命傷を負っています。

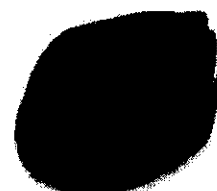
Check 2



(注) 自転車乗用中死傷者に占める人身損傷主部位が「頭部」であった死者の構成率を比較したもの。

ヘルメット非着用の場合の致死率は、着用していた場合と比べて約2.4倍高くなっています。

自転車乗用中の交通事故の被害を軽減するためには、頭部を保護することが重要です。
自転車に乗る時は、ヘルメットを着用しましょう。



岩手県警察